

DOYU

あおり

2023 Sep

9

vol.268



- 02 全国行事特集
- 05 共に生きるみらい委員会コラム
- 06 会員企業紹介
- 09 こだわりの一品
- 10 委員会活動報告
- 12 新会員紹介／編集後記

第55回定時総会 in 埼玉



中小企業家同友会全国協議会 第55回定時総会がさいたま市で行われました。「今こそ同友会理念の実践で地域と中小企業の未来を創り上げよう」と時代の転換期こそ変革のチャンスとをテーマに全国から実践報告があり16の分科会が設置されました。

1日目（7月13日）では全体会が行われ、広浜泰久会長よりコロナ禍が落ち着き4年ぶりに1200名を超える参加会員数で今回の全国総会を迎えることができたことと、開催にあたり中心となって運営準備に奔走してくれた会員への感謝の弁が述べられました。

総会議案では2022年度の振り返りとして

- ①「労使見解」に基づく経営指針の実践や採用・教育の継続的な取り組みを進める。
- ②「経営革新支援プログラム Ver.2」の発刊と今後の普及・活用。
- ③経営環境の改善や地域の活性化を目指し、行政や教育機関、金融機関、関係団体との連携・協力の前進。
- ④政府による経営者保証に依存しない融資制度に向けて「経営者保証改革プログラム」の公表は同友会の長年の運動の大きな成果の一つ。
- ⑤全国の会員数47,169名（986名増勢）で新年度を迎えた。



など5項目の報告がされ、続いての2023年度の課題と活動方針では

第1節、「企業づくり」

- ①「人を生かす経営」の総合実践で強い体質の企業づくりを目指す。
- ②経営戦略の再構築や戦略に転換で企業体質の強化を目指す。

第2節、「経営環境の改善と地域づくり」

- ①企業づくりを通じて未来に希望を持って幸せに暮らせる地域を築こう。
- ②中小企業憲章・中小企業振興基本条例の推進で同友会理念の実現を目指そう。

③中小企業の持続発展を支える政策活動の展開を目指す。

④持続可能な地域づくりを支える中小企業経営に誇りを持って取り組もう。

第3節、「同友会づくり」

- ①強靱な体質の同友会づくりを進め、中小企業の魅力を発信しよう。
- ②未来に向けた同友会活動の展開を。
- ③組織・役員・事務局・財政の強靱化を。
- ④全国の同友会活動・ブロック活動を強化し、連帯を広げよう。

④全国の同友会活動・ブロック活動が発表され、予算案と合わせて議案として提出されました。

その後、各分科会に分かれ実践報告・グループ討論が行われました。

分科会後には事前申込者による交流会が開かれ、定員を拡大しての500名規模の懇親会となりました。分科会ごとに分けられた各テーブルではグループ討論の続きのような熱気のもった交流が繰り広げられました。



2日目の全体会では、前日に提案された議案の採決が行われ、全会一致で承認されました。また、特別企画として行われた（独法）中小企業基盤整備機構・理事長の豊永厚志氏による講演では「中小企業の未来を4X・1Wで切り拓く」をテーマに、最新の中小企業情勢が解説され、4Xである事業再構築（BX）、デジタルトランスフォーメーション（DX）、輸出（EX）、社会的課題（GX、SDGs）と1Wであるヒトの大切さ（Well-Being）がポイントとなるとまとめられました。



記：高橋 利典

屋根・外壁・リフォーム工事 板金工事の専門会社です。

〒039-1161 八戸市大字河原木字北沼22-17 TEL 0178-29-1855 FAX 0178-29-1833

屋根があれば人は集まる。

有限会社 工藤板金工業

第26回女性経営者全国交流会 in 北九州

ボディバランスケア anon

代表 小野 美保 氏

6月22日(木)23日(金)の二日間、福岡県北九州市リーガロイヤルホテル小倉にて「第26回女性経営者全国交流会」が開催されました。今回は過去最多の906名が参加し、パンデミックの3年を乗り越えた喜びの盛り上がりを見せた交流会でした。二日目の記念講演は株式会社西日本新聞社・執行役員北九州本社代表の甲木正子氏による「100年、200年続く企業に」カギは多様性



」を題として行われました。

男女雇用機会均等法以降2代目の女性記者として入社した甲木氏。入社2年目で念願だったサツまわり(県警担当)の記者になると、水を得た魚のように飛び回り、ベテラン刑事から「取材のイロハ」を教わりながら仕事を覚えた女性記者の草分け的存在だと思われました。「新聞社として久しぶりに採用した女性記者の君達が辞めるなら、女性は育てても無駄と判断する。来年からの女性の採用は君達の働き方にかかっている」と、入社時の上司の言葉からも見て取れるように長らく男社会だった新聞社で結婚、育児にキャリアアップと、道なき道を拓き続けたそうです。印象的だった話はお子さんが3歳の時、東京支社への転勤の打診があり、断ることができたのですが、『もし自分がこの異動を断ったら、やっぱり女は家庭を理由にこんな良い転勤話を断わるのだと思われる、自分の後に続く女性の後輩達への転勤話が遅れてあの子たちのチャンスをつぶすことになるかもしれない』という思いもあり、実家の両親にお子さんを泣く泣く預け、単身東京へ転勤した決断と実行力に感動しました。

昭和から平成、そして令和へと移り変わる時代の背景には『セクハラ』が当たり前のころのかすむ女性活躍、ジェンダー、新聞発行部数と普及度の減少、多様性、コロナ禍など、めまぐるしく起きる問題や課題にも果敢に向き合う話、「新聞は民主主義を守るイ

ンフラ」「命を守るために真実を報じる」「わたしたちの九州西日本新聞社は地域づくりの先頭にたちます」と理念を掲げつつ、新聞売上減少をグループ会社の総合力(豆腐の移動販売・コインパーキング・焼酎販売・がんの早期発見検査キットなど)、場所や立場が変わっても、いつも「前例がなかった」ゆえのハードルを目の前に、それを素直に受け止め、前向きに自身の人生の枠を広げてきた体験と、100年以上続くビジネスモデルと言われてきた新聞業界人としての視点で、「未来永劫続く企業」へのチャレンジを提唱し、そのヒントとなるキーワード(考え方)が心を震わせる学びの時間になりました。

この学びを青森・十和田へ持ち帰り、自社や地域のハードルを越えていきたいです。



産業廃棄物収集運搬・処分業
建築・土木・管工事業



青森県上北郡東北町字柳沢59番地21
東管工業株式会社
代表取締役 蛭 沢 宮 行

TEL 0175-63-4450
FAX 0175-63-4467

第4回東北青年経営者フォーラム

青年部会 部長 觸澤 篤司 氏
(株) アイティコワーク・代表取締役

6月24日、福島県郡山市で「第4回東北青年経営者フォーラム」が行われました。

今年に入ってから東北ブロック青年部連絡会の中で準備を重ね、福島同友会青年委員会設置のもとで目標だった100人の参加者を達成し無事盛會に終わったことに安堵するとともに、青森同友会からの参加者をもう少し増やし、体験してもらいたかったと反省しているところです。

今回の報告者、宮城同友会の和光技研工業(有)の渡邊琢也社長は、コロナ禍の真っ只中に3代目として事業を承継した若手の経営者です。

「実践の話ではあるが、成功体験の話ではない」と前置きがあった上で、承継した後の取り組み、そして苦悩、経営者として学ぶために同友会への



入会、先輩経営者に背中を押されるように受講した「経営指針を創る会」など、この短期間で目まぐるしく環境が変わりながら挑み続けている姿を赤裸々に語っていただきました。

時に「創る会」で作成した経営理念と経営指針書に関して、生み出すのにも相当な苦労が伺えましたが、やはりその運用や社員さんへの浸透の方が更に難しいこと、その後の社員さんとの関わりの中からも難しさと、それだからこそ重要さを感じ取れました。

ただ闇雲に理念を掲げても社員さんが賛同し動いてくれるわけもなく、従わせるための武器として使ってしまうと全く逆の効果がでてしまうことも感じました。手段に固執し、目的を語ることを忘れると、社員さんの主体性を奪い、考える力までも奪ってしまう、という現実を改めて身が引き締まる思いがしました。

現在も日々社員さんとのようにコミュニケーションをとっていくか、どう信頼してもらうか奮闘中で、食事に撮った幹部社員の皆さんの写真をスライドに出し、「写真を撮るよって言っても、誰もカメラの方に目を向けていません。これが現在のわが社の状況で

す」と正直に語り、ここがスタート地点と語る姿は清々しく頼もしくもありました。

今回のフォーラムは、現状認識が近い若手経営者が多かったのではないのでしょうか。グループ討論も、福島同友会のグループ長さんが非常に巧みだったこともあるのですが、2時間近いグループ討論がとても短く感じられ、熱い学びの場となりました。

是非来年の東北青年経営者フォーラムには、青森からも沢山の参加を望みたいと思います。



もっと素敵に環境創造

総合建設業
株式会社 大坂組

〒030-0933
青森市大字諏訪沢字岩田51-1
電話 (017) 726-2461
FAX (017) 726-7009
運輸部 (017) 726-7007

【共に生きるみらい委員会コラム 名称変更のねらいと活動】

「共に生きる障がい者問題委員会」として活動していた当委員会は、10年の活動を経て、この度「共に生きるみらい委員会」に名称変更しました。

なぜ名称を変えるのか、そして私たちは何を指すのか。この機会に、ぜひお伝えさせてください。「人手不足で困っている」「人材不足が深刻だ」そんなお声が同友会内からよく聞こえます。昨今危惧される2030年問題。少子高齢化による人口構造の急激な変化で、労働人口は減少し、私たちは大きな社会変革を余儀なくされる時代に突入しました。今まで、費用をかけ短期的な求人・採用で対処してきた企業も、今後さらに難易度の高い人材獲得競争に晒されます。私たち事業者は今後どう生き残るのでしょうか。ヒントは「共に生きる」。そこに尽きると考えます。現在「就労困難者」は1500万人を超えると推計されています（図1）。さて、では「就労困難者」とはどんな人なのでしょう。ニート・引きこもり・ホームレス・難病・障害・依存症・LGBTQ・養護施設出身・余刑者等。それぞれ生まれつきのハンデを持つ人や、後天的にハンデを抱えた人、あらゆる背景の人がいます。働きづらさを抱えた人が、別け隔てなく「共に生きる」一員として活躍すれば社会を支える大きな力になるのではないのでしょうか。

私たち事業者はまさにその変革を担える立場にいます。多様な個性や能力が発揮できる職場作りの担い手として、このチャンスを掴まない手はありません。変わりゆく時代、この地域から変革をもたらす仲間が一人でも増えることを願い、当委員会はあらゆる垣根を越えて「共に生きる」社会の実現を目指します。

ぜひ、私たちと一緒に考え、学び合う活動に参加しませんか？17年ぶりとなる青森同友会での全国行事誘致に向けて、まずは今年、愛知とともに学びましょう！（図2）



2025年
「障害者問題全国交流会」が
青森で開催されます！
まずは…
2023年10月
障全交 in 愛知
に共に参加しましょう！

▲ 図2

◀ 図1

 株式会社 **パルジンプアップル**

〒036-0114 青森県平川市町居南田170-6
TEL 0172-44-2160 FAX 0172-44-2306
<http://www.jinpachi.co.jp/>



会員企業紹介

社員さんのやりがいと 顧客サービスのリンク

北進運輸

代表 道川 貞徳 さん

〒039-4401 青森県むつ市大畑町八幡湯坂 2-175
電話 0175-34-3036 FAX0175-7572-1129
HP : <http://hokushin-line.com/>



むつ市大畑町に会社を構える北進運輸は平成14年に創業し、今年で21年目を迎えます。今回は代表取締役の道川貞徳社長に取材をしてみました。道川社長はむつ青年会議所で理事長を務めるなど、地域に対してとても熱意のある方で、歴史を振り返り時代に取り残されないように情報収集を怠らず、常に新しいことを考えていらっしやいました。北進運輸は、一般廃棄物収集運搬事業、一般貨物運送事業、除排雪作業委託事業などを行っており、メインは一般廃棄物収集運搬業といわれるむつ市から許可を受け、委託されたごみ収集事業です。決められた場所に集められたごみを収集するのはもちろんのこと、北進運輸は同業他社とは違う事業にも取り組んでいます。それはお客様から電話をいただき、指定された住所まで出向いて家庭ごみを収集するという「収集便」といわれる事業です。道川社長は「むつ市での取り組みをやっている業者は他にいないので特徴を出すことができている」といいます。しかし、毎週決まった曜日に決まった場所で回収するごみ収集の方が、効率がいいといえます。では、なぜ北進運輸では一

般家庭にごみを取りに行く「収集便」をやっているのでしょうか。それは社員教育の一環として行っているということでした。決められたごみ収集は誰が行ってもお客様とお話することもなければ社員さんの顔を見ることもありません。しかし「収集便」では、社員さん自ら電話を受けて、お客様のお家へ赴き、コミュニケーションをとりながら本来の仕事であるごみを収集します。そうすることで、社員さんの営業力が高まり、北進運輸という母体のお客様だけでなく、お客様の中から社員さんの「ファン」が増えていき、北進運輸の社訓である「北進運輸は自分である」にあるように、やらされている仕事からやりがいを感じ主体性をもって仕事に臨むことができる



広告物製作施工

株式会社エーアンドエム
〒031-0823 青森県八戸市湊高台3丁目3-3
TEL0178-35-0789 FAX0178-35-0788

株式会社 マルヤマ

- 消防用設備設計・施工・点検・販売
- 消防法令各種届出書類作成・手続
- 防火対象物点検・防火設備検査
- 防災用品・非常食販売
- オリジナルデザイン消火器製作

青森県十和田市東十五番町 51-15
TEL:0176-22-0133 FAX:0176-22-7296

会員企業紹介

おっしゃっていました。道川社長は、「私は創業から今に至るまで若いチャレンジ精神で新しいこと、事業を行ってきました。しかし、これから10年、20年過ぎたとき、私も歳を取っていきます。時代に取り残されないように情報は常に収集していきますが、限界があります。北進運輸が今後邁進していくためには若い力、新しい血を入れていかなくてはなりません」とこれからの展望を話してくれました。常に慢心せず、立ち止まることなく、新しい事業、時代のニーズに沿ったイノベーションを今後も起こしていく情熱が感じられる取材でした。



記：加藤 人士

人生を楽しむお手伝い

株式会社 I・M・S

代表取締役 三上 友子 さん

2005年4月11日設立 社員数：42名
〒036-8182 青森県弘前市土手町134-8
TEL:0172-32-5801 FAX:0172-88-6421
HP:ims-hirosaki.com



株式会社 I・M・S は「人生を楽しむお手伝い」をしている会社です。自分らしく生きたい・目標を見つけたと思う自分ひとりでは答えが見つからない。そのようなときにキャリアアカウンセリングを通して、キャリアビジョンを描いていただき、自分らしい人生を歩むお手伝いをしています。

個人サポートについては、国家資格であるキャリアコンサルタントが30名以上在籍していることから、自治体で設置する就職関係の窓口の運営や、就職面接会などを通して、働きたい人を社会へつなぐお手伝いをしています。

法人サポートについては、採用のお手伝いやブランディング、社員研修や課題解決などを行っています。「働く側の生の声」をたくさん聞く会社だからこそ企業側に伝えられることがあり、よくある「都会の会社のテキスト通りの研修」とは全く違う内容を提供しています。

「求人票の書き方を変えるだけで応募がある」という時代はとうに過ぎました。根本から見直す時期に来ているのですが、

会員企業紹介



どう書けばいいかという表面だけに意識が向いている会社がまだまだ多いのが実情です。働く側の価値観が大きく変わっていることを念頭に置いて企業活動をしなければ、ますます採用・定着は難しくなると感じています。

創業前から実施している職業訓練は今も継続しています。最近では、青森県内全域の企業をサポートすることが増えてきました。採用の難しさに直面し、「今いる社員の育成をしなければ、新しい人の採用には結びつかない」ということに気づいた企業からの依頼が多くなっています。毎年10人採

用しても1年後には一人しか残っておらず、翌年もまた数百万円をかけて10人採用しなければならぬ。これは、企業風土の改革から始めなければなりません。

社員研修については、新人のみに実施する企業が多いのですが、新人をしっかりと育てるためには、先輩社員の育成、さらには上司の働きかけが必要です。しかしながら先輩社員や管理者向けの研修はほとんど実

施されておらず、このことが定着の悪さにも影響していると感じています。新人教育をマンツーマンで担当者を決めるやり方をした企業も、育成に当たる側の先輩社員に心構えがなかったことから双方に過度な負担がかかり、うまくいかなかったという事例もあります。自分の役割が何なのかをしっかりと認識することが重要です。

話は変わりますが、7月15日に笑顔が増える場所づくりとして「コミュニティースペース 月と山と」をオープンしました。子育ての経験を通じ、笑っているお母さんを増やしたいという思いで7年前から構想していたものです。地域の空き家解消にもつながりますし、働く女性を応援する場所としての役割も担います。

今後は社員一人一人がやりたいと思うことを、会社を挙げて応援する形を整え、事業として手掛けていきたいと考えています。

有限会社 ローズリー資源 <http://www.rozure.com/>
 廃棄物業・総合リサイクル業
 本社 / 〒030-0955 青森県青森市大字駒込字深沢5-303
 TEL 017-744-0575, FAX 017-744-0579
 南部支店 / 〒039-1524 青森県三戸郡五戸町大字豊間内字地蔵平1-578
 TEL 0178-38-9294, FAX 0178-38-9295

有限会社 カワシタ電業
 電気工事 消防施設的设计、施工
 むつ市中央2丁目21-1
 TEL.0175-29-5611
 釜山展望台からの眺め「アゲハチョウの夜景」

こだわりの一品



十和田市に「すばびき」というレストランがあります。高校生の時からなので35年くらい通っています。スパゲッティはもちろん美味しいのですが、お店のオリジナルドレッシングが絶品です！生野菜ってたくさん

食べるの結構大変ですよね？でもあら不思議、このドレッシングがあればいくらでもイケますよ！保存料着色料不使用で他に比べて消費期限が短いので、行った時1本しか買えないのが残念なのです。

エーアンドエム 木村 美栄子



これは八戸の民芸品・八幡馬（青森県伝統工芸品）の仕上げ作業で面取りする専用のナイフ。20数年前、先輩から教わって作ったものを今も使っています。元の切り出し小刀と比べると違いがわかると思いますが、作業面が広いいため刃幅もそれに合わせて広めに研ぎ出しています。持ち手は木材を組み合わせて自分の手の大きさに合うように、曲がりをつけています。小指でしっかり握れるように切り込みを、逆に親指でしっかり力が伝わるように膨らみをつけています。

八幡馬 高橋 利典



お試し入店スマホアプリ
ぶらりん@タウン
Burarin

気になっていたお店や
行ったことのないお店で
「ぶらりんセット」を
頼んで、お試し体験！

まずは
ホームページを
チェック！



お問合せ

株式会社サン・コンピュータ 青森県八戸市北インター工業団地一丁目5番10号
Web <http://www.sancom.co.jp/> TEL 0178-21-1255

委員会活動紹介

経営指針委員会

委員長 附 田 久 志
(株)青北建設・代表取締役社長

・4月から第20期経営指針を創る会を開講し、10月の第7講「発表会」に向けて5社6名が奮闘中。

・経営指針成文化運動を広げるため、2022年10月に発行された『企業変革支援プログラムVer.2（以下、Ver.2）』の普及活動を計画中。

・8月28日にはVer.2活用の先進事例学習のため、委員会メンバーで宮城同友会を訪問。



共同求人委員会

委員長 花 田 仁
鈴木建設工業(株)・代表取締役社長

・中同協・共同求人委員会が主催する中小企業サミット（6/9開催）へ出展。

・高校生の「進学」先で専門学校が一定数あることから、求人情報冊子『WING』を県内の専門学校へ配布する活動を開始。

・三本木農業恵拓高校からの求めに応じて10月に十和田市・三沢市の会員企業を巡る企業見学バスツアーを実施予定。



社員共育委員会

委員長 佐々木 佳弘
ササキ石油販売(株)・代表取締役専務

・5月から6月にかけて3回シリーズの「気持ちあがる！中堅社員さんのためのステップアップ研修会」を開催。

・マネジメントゲーム(MG)を八戸支部・はちのへ学びの杜の協力を得て体験会を実施

・9月に3S(整理・整頓・清掃)活動の学習旅行(大阪)を実施
 ・女性社員キャリアアゲザイン研修会「ワークライフスタイル応援セミナー」(9/26)を開催予定。



共に生きる みらい委員会

委員長 立 崎 文 江
(二社)日々木の森・代表理事

・新年度より名称を「共に生きる障がい者問題委員会」から「共に生きるみらい委員会」と改称し、社会の中で生きづらさを抱える人全てを応援する活動へと移行。

・6月に青森市内で開かれた中同協・障害者問題委員会において、2025年開催予定の第23回障害者問題全国交流会(障全交)の設営を青森同友会で担うことが決定。
 ・「雇用促進パネルディスプレイ」(9/12)を八戸市で開催予定。



青森県知事許可(般-24)第100121号
Oct, 有限会社 オクト

〒030-0852 青森市大字大野字鳴滝87-14
 TEL:017-762-5223 FAX:017-762-5224

■内装仕上工事(軽鉄・ボード・床・クロス) ■タイル・石工事 ■ビル・住宅リフォーム工事

私たちは、夢と安らぎのある生活空間創りをもって
 地域に貢献します。

鈴木建設工業株式会社

〒033-0062 三沢市新町三丁目31番地2201
 tel. 0176-53-3078 fax. 0176-53-9800 suzukikensetsu.co.jp

委員会活動紹介

広報委員会

委員長 加藤 人土
(株)加藤商店・取締役

・年4回（6月、9月、12月、3月）の発行間隔で委員会版『DOYOUあおもり』を発行予定。
 ・会員さんからの寄稿形式で、「ミニ記事」「こだわり一品」を掲載予定

組織委員会

委員長 渡 辺 精 一
(有)松竹梅造園・代表取締役

・8月下旬から順次、各支部長を訪問し、委員会体制の拡充と支部での会員増強活動の促進について意見交換を行う予定。

女性部会

部長 木 村 美栄子
(株)イーアンドエム・代表取締役

・5月に弘前市で全県見学会を開催し、眠りの杜溝口を見学。
 ・第26回女性経営者全国交流会（女全交）で北九州に過去最多の14（女性12、男性2）名が参加。
 ・7月に女性経営者全国交流会（女全交）参加者による報告例会を八戸支部と合同で開催。
 ・9月に青森市で全県例会を開催予定。



青年部会

部長 觸 澤 篤 司
(株)アイティワーク・代表取締役

・東北青年経営者フォーラム（郡山）へ部会員が参加
 ・北海道同友会函館支部・青経未来塾の例会で觸澤篤司部長が報告。
 ・第2回青年部会総会（7/19）を開催し、（社福）愛和会・園長の中本悠哉氏（広島同友会所属・中同協青年部連絡協議会副会長）が報告。



- モニュメント
- デザイン
- ネオン
- サイン

ART DESIGN

株式会社

アイサイン

Call 0172 62-5508 Fax 62-5516

Office 〒038-1331 青森市浪岡女鹿沢西花岡82-1
 URL <http://www.ai-sign.com> MAIL aisign@infoamori.ne.jp



私たちはエネルギーを追求し、くらしのゆとりを育てる企業を目指します。

ササキ石油販売株式会社

本社：十和田市大字奥瀬字小沢口425-3
 ☎0176-72-2026(代) sasaki-gs.com

十和田湖町CS (0176-72-2026) A.M.ICS (0176-25-2311)
 車検・東北運輸局認証自動車整備工場・LPガス・灯油・重軽油
 各種住宅設備機器・水道設備工事・太陽光発電システム

Welcome to DOYU!

新会員紹介



【上十三支部】
株式会社 A-WORLD
代表取締役
古里 宣光

青森の面白いこと、青森のファンを世界に広げることをミッションに、2022年4月から、道の駅奥入瀬(十和田市)で奥入瀬ブルワリー/レストラン/青森りんごの専門店“あら、りんご。”を運営しています。

〒034-0301 十和田市大字奥瀬字堰道 39-1
TEL: 0176-51-3151 FAX: 050-3172-3198
URL: <https://oirase.beer/>



【上十三支部】
合同会社 ぶりんぐあつぷ
代表社員
紺野 兼如

子どもたちの「生きる力」を育み、社会的自立を応援しています。

〒034-0011 十和田市稲生町 16-43
TEL: 0176-51-0705 FAX: 0176-51-0705
URL: <https://towadabringup.com/>



【青森支部】
株式会社 YBS(ワイビーエス)
施設長
三上 大介

就労系障害福祉サービス・相談系福祉サービスを運営しております。

〒030-0947 青森市浜館 1-18-5
TEL: 017-742-8334 FAX: 050-3488-7850
URL: <https://yamamoto-business-service.jp/>



【青森支部】
株式会社アールイクレスト
代表取締役
角田 大輔

アールイクレストの角田です。誠実・尊敬・感謝を理念にお客様満足度No.1の不動産会社を目指して同友会でたくさん学んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

〒030-0945 青森市桜川3丁目 12-4
TEL: 017-765-0565 FAX: 017-771-4233
URL: <https://re-crest.net/>



【津軽支部】
カーケアサポート黒石 株式会社
代表取締役
吉谷 聡仁

軽自動車から大型トラックの車検整備、基本働く車全部直しちゃいます。

〒036-0343 黒石市大字浅瀬石字扇田 418
TEL: 0172-55-0581 FAX: 0172-55-0582
URL: <https://www.car-cs.com/>



【八戸支部】
さくらアカデミー 八戸湊高台教室
代表兼教室長
高橋 悠木

八戸北・八戸東高校を第一希望とする学力層の生徒指導に特化した“温かくも厳しい進学塾”です。

〒031-0823 八戸市湊高台 2-16-7
TEL: 0178-85-0348
URL: <https://minatotakadai.sakura-academy.info/>

随時 会員募集中!

*** 編集後記 ***

皆さん、こんにちは! 広報委員会の加藤です。今回のDOYU あおもりはいかがでしたでしょうか? 新コーナー「こだわりの一品」では、会員の皆さんのおすすめしたい仕事道具やお店、調味料などを紹介していきます。e-doyuを通じて「私のおすすめ」というアンケートをお送りしますので、皆さんとじっくりこだわりの一品をお寄せください♪

A*SETU
水道管工事株式会社

水の問題、
迅速解決!!

もう、水まわりの心配はさせません。
☎ 017-766-2421